

Japanese Laid-Open No. 4-46069 (JU-A-4-46069)

Laid-Open Date: April 20, 1992

Application No. 2-88056

Application Date: August 22, 1990

Applicants: Fuji Chemical Paper Industries K.K. &
K.K. Uchida Youkou

Title of the Invention:

Tape Holding Structure of Tool for Transferring Coating Film

Japanese Laid-Open No. 4-46069 (JU-A-4-46069)

Laid-Open Date: April 20, 1992

Application No. 2-88056

Application Date: August 22, 1990

Applicants: Fuji Chemical Paper Industries K.K. &

K.K. Uchida Youkou

Title of the Invention:

Tape Holding Structure of Tool for Transferring Coating Film

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-46069

⑬ Int. Cl.⁵

B 65 H 35/07

識別記号

E

庁内整理番号

9037-3F

⑭ 公開 平成4年(1992)4月20日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑮ 考案の名称 塗膜転写具のテープ保持構造

⑯ 実 願 平2-88056

⑰ 出 願 平2(1990)8月22日

⑱ 考 案 者	小 野 雅 彦	大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号 富士化学紙工業株式会社大阪工場内
⑱ 考 案 者	若 杉 浩 一	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	稲 葉 奈 緒 子	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	木 村 勝 彦	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	直 井 勇 三	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	岡 本 安 都 夫	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	岡 田 智 継	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑱ 考 案 者	富 永 克 郎	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
⑲ 出 願 人	富士化学紙工業株式会社	大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号
⑲ 出 願 人	株式会社内田洋行	東京都中央区新川2丁目4番7号
⑳ 代 理 人	弁理士 北 村 修	

⑳ 実用新案登録請求の範囲

1 ハウジングHに所定の姿勢で着脱自在に収納されるカートリッジCに、転写テープTを巻き掛けてある繰出コア2と、この繰出コア2から繰出される転写テープTを巻き取る巻取コア3と、前記繰出コア2から巻取コア3へのテープ移動経路途中において、前記転写テープTの転写塗膜T₂を被転写面aに転写する転写ヘッド6と、前記両コア2、3に対する同一側面側からの軸の係合操作を許容する軸挿入口8、7とが設けられているとともに、前記ハウジングHには、前記軸挿入口8、7を通して前記両コア2、3の夫々に係合する一対の駆動軸15、1

3と、前記転写ヘッド6を外部に臨ませる開口部10とが設けられてなる塗膜転写具のテープ保持構造であつて、前記ハウジングHは、前記開口部10に対して前記転写ヘッド6を押抜する第1方向でのカートリッジCの出し入れを許容する装着口11を備えたハウジング本体9と、前記装着口11を開閉する開閉蓋12とからなり、前記開閉蓋12の内面には前記駆動軸13、15が取付けられているとともに、前記ハウジング本体9には、前記第1方向に対して直交する二次元方向でのカートリッジCの相対移動を阻止する支え部17が設けられ、更に、前記ハウジング本体9と開閉蓋12とは、前記

第1方向と前記コア2, 3に対して前記駆動軸13, 15を挿抜する第2方向とがほぼ90度相違する状態で連結されてなる塗膜転写具のテープ保持構造。

- 2 前記開閉蓋12とハウジング本体9とは、前記第1方向と第2方向との両方向に対しほぼ90度異なる方向に回転軸線に向けたヒンジ構造により連結されてなる請求項1記載の塗膜転写具のテープ保持構造。

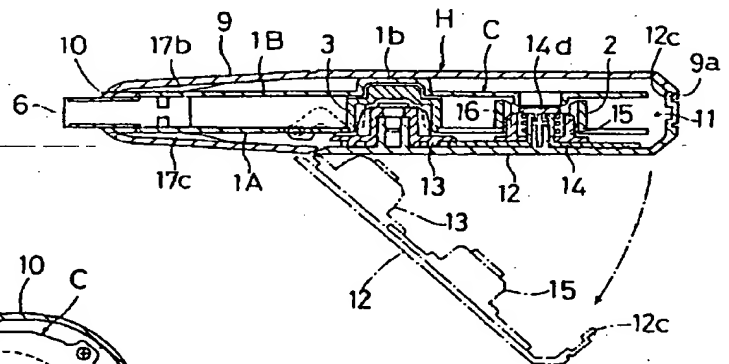
図面の簡単な説明

第1図乃至第11図は本考案に係る塗膜転写具のテープ保持構造の実施例を示し、第1図は全体の縦断面図、第2図は全体の水平断面図、第3図は要部の拡大縦断面図、第4図は要部の分解斜視

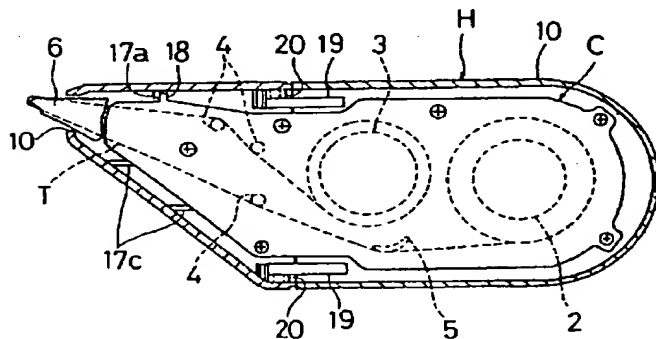
図、第5図は転写状態を示す要部の拡大断面図、第6図はハウジング全体の縦断面図、第7図はハウジングの要部の分解図、第8図はカートリッジ全体の水平断面図、第9図乃至第11図は開閉蓋のヒンジ構造を示す要部の拡大断面図である。第12図及び第13図は従来構造を示す分解斜視図と使用時の全体側面図である。

H……ハウジング、C……カートリッジ、a……被転写面、T……転写テープ、T₂……転写塗膜、2……繰出コア、3……巻取コア、6……転写ヘッド、7, 8……軸挿入口、9……ハウジング本体、10……開口、11……装着口、12……開閉蓋、13, 14……駆動軸、17……支え部。

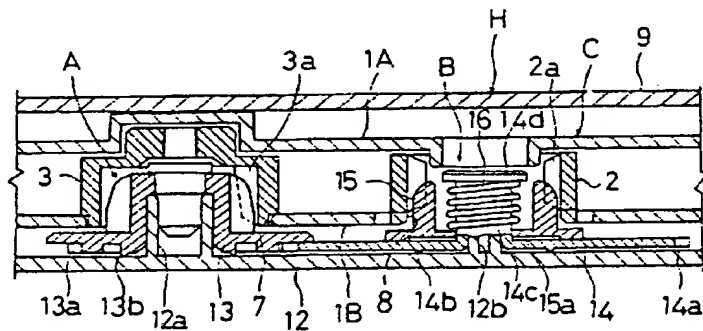
第1図



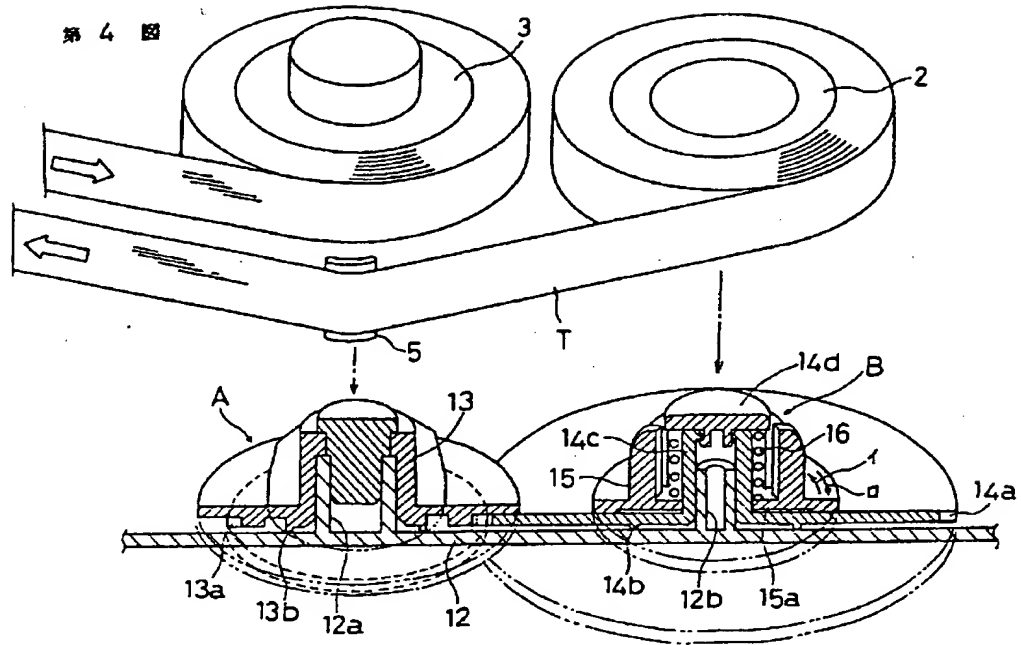
第2図



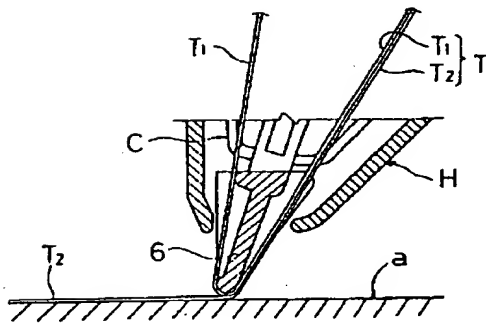
第3図



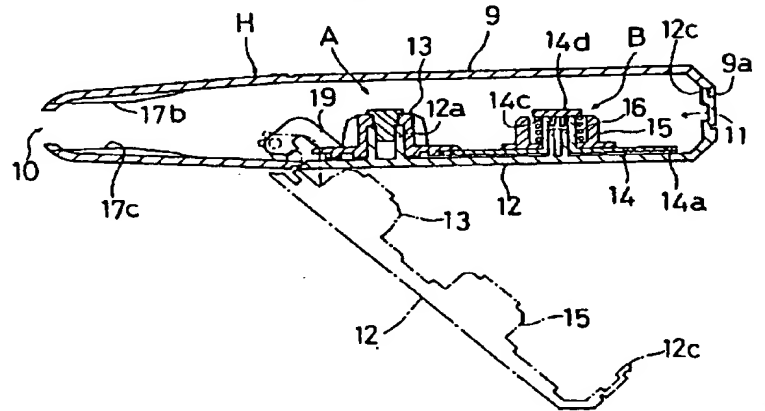
第 4 図



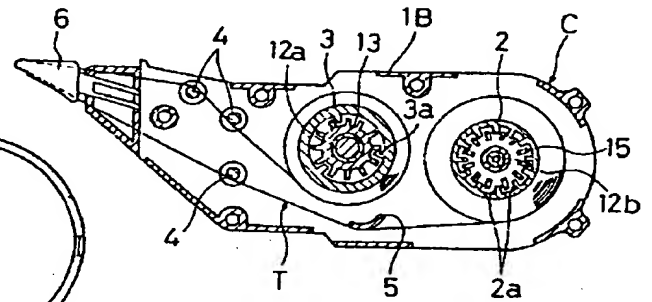
第 5 図



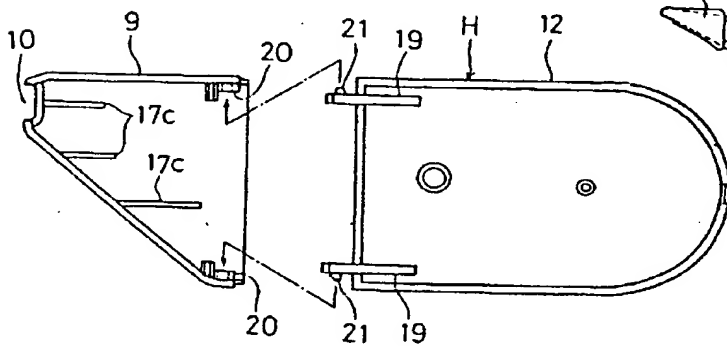
第 6 図



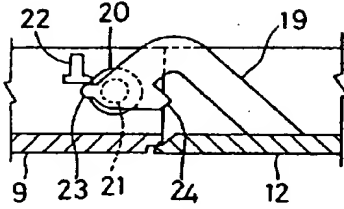
第 8 図



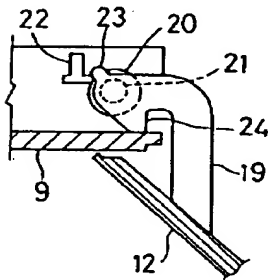
第 7 図



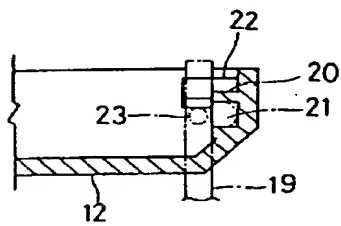
第 9 図



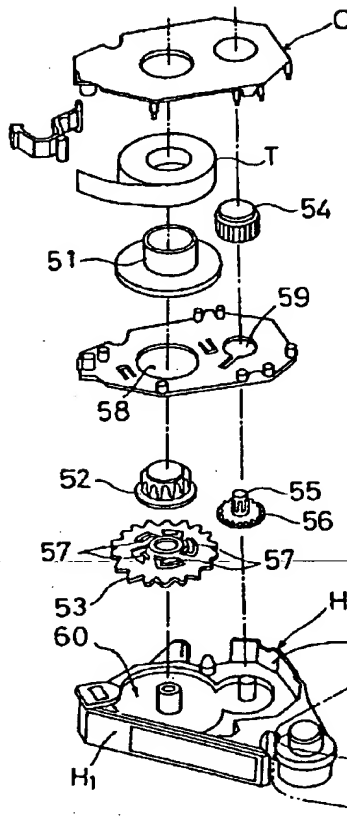
第 10 図



第 11 図



第 12 図



第 13 図

